

(図らずも)



最近、図らずも上手くいくことが結構ありました。「思いもかけぬ」「予期せぬ」結果。あれこれ画策したより遙かにいい出来映えや結末。

例を書くことにとってみると、最初にテーマを決めて、それに向かって書き込んで行くのではなく、わき上がって来たり、思いついたことをつらつら書いて行って、流れるに任せたままその後をついていくと、いろんな発想や気づきが舞い込んできて、最後にそこから連想される題名をつけ、そこからはみ出したものをそぎ落としてみると、結構面白いものが出来上がっていると言うようなことです。

これって、自分がよく言っている「ゴールを決めてそれ一本に向かっていくんじゃなくて、敢えて方向方角を決めずに行けるところまで行ってみる自由さ、気楽さの方がいいんじゃないの？」という具体例みたいな気がしないでもありません。

要するに「肩を張らない」ということなのかもしれません。

あるいは技術的に言えば「思考の時系列（トレンド）に従う」と言うことです。つまり「時間の流れに従う」と言う無理のない姿勢、態度なので極めて自然なのかもしれません。